



津野山神楽



橋原神楽

# 歴史の記憶 須田剋太 「街道をゆく」

愛媛銀行  
協賛

## 挿絵原画展 第2回 橋原街道

2014.10.12 | 日 | - 11.3 | 月・祝 |  
坂の上の雲ミュージアム2階ホール  
(無料)

「街道をゆく」は、作家司馬遼太郎さんの代表的な紀行文集です。これは、1971年から1996年まで25年にわたって『週刊朝日』に連載されました。司馬さんは、韓国、中国、ヨーロッパなどの各地をたずねています。たずねた先の土地のたたずまいや歴史について、司馬さんは独特の筆づかいでこまやかに表現しました。

須田剋太さんは、「街道をゆく」の連載当初から1990年まで挿絵を担当しました。色彩ゆたかに強いタッチで描かれた須田さんの挿絵原画は、歴史の記憶を脈々とつたえています。

第2回挿絵原画展(第1回は南伊予・西土佐の道)では、橋原街道をとりあげます。橋原街道は土佐から伊予へぬける脱藩の道としてよく知られています。1985年10月に、司馬さんと須田さんは橋原街道をたずねました。『竜馬がゆく』を執筆した当時から、司馬さんの橋原街道へのおもいは格別なものであったようです。須田さんの挿絵にも、その格別なおもいが共有されています。

坂の上の雲ミュージアム館長 松原正毅

### ■ 関連イベント 記念対談 橋原の魅力

出演者 藤谷宏樹(「街道をゆく」橋原街道の編集担当者)  
松原正毅(坂の上の雲ミュージアム館長)  
日時 平成26年10月19日(日) 14:00 ~ 15:30  
場所 坂の上の雲ミュージアム2階ホール

資料協力:大阪府、大阪府立江之子島文化芸術創造センター(所蔵先) 主催:松山市(坂の上の雲ミュージアム)、四電ビジネス株式会社 協力:梶原町

# 坂の上の雲ミュージアム

SAKANOUE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600  
E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車(道後温泉行)——大街道下車——徒歩2分
- ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車(全線)——大街道下車——徒歩2分
- ・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行)——一番町下車——徒歩2分
- ・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス(道後温泉行)——一番町下車——徒歩2分
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

